

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



## 第2回PTA実行委員会の皆様に感謝

10月23日(木)19:00~20:15

10月23日(水)に第2回PTA実行委員会を開催し、令和元年度文化祭PTAバザーの準備、今後のPTA活動についての協議などを行いました。はじめに、11月2日の文化祭PTAバザーの各クラスの注文数と金額の確認を行い、二人一組で14種類のチケットをクラスの注文数に分け小封筒に入れる作業をし、約40分間で終わりました。実行委員の皆様がとても協力的であったので、たいへんスムーズに作業を終えることができました。PTA実行委員の皆様が、きちんとやってくくださったので、当日は、気持ちよくPTAバザーを実施できると思います。その後、約40分間、その他の協議事項について打ち合わせをしました。PTA実行委員の皆様のおかげで、額田中学校PTA活動が順調に進んでいることを確信しました。本当にありがとうございました。

11月2日(土)の文化祭が晴天に恵まれ、生徒と保護者、地域の皆様に幸せの花が咲くことを願っています。今後ともPTA活動へのご理解とご協力をお願いします。



文化祭PTAバザーの各クラスの注文数と金額の確認

## 教師の授業力向上のための研修 10月24日(木)

技術・家庭科指導員訪問 講師:浅野 博志 先生(根石小学校)



10月24日(木)、2時間目に1年2組で家庭科の授業研究が行われました。岡崎市技術・家庭科指導員の浅野博志先生(羽根小学校)を講師に迎え、これからの授業についてのあり方を学びました。

### 技術・家庭科指導員の浅野博志先生からのご指導

- ・学習内容が先進的で、これからの社会を生き抜く力を育成するのに価値ある授業でした。CRSは、生徒が挑戦的な課題(Challenge)に真剣に取り組み、問題解決を通してお互いに支え合い、尊敬し合える関係(Respect)を築き、最後は笑顔(Smile)になる学習です。まず、教師が挑戦的な教材を考えることが大切です。そういう意味で、教師が挑戦的な学習内容に取り組んだ点はすばらしいです。
- ・生徒が主体的に学習に取り組み、生徒も教師も笑顔で学習しているところが魅力的です。
- ・「香害」についての資料を読んでから、CRSの場を設定すると、もっと深い学びに発展していくと考えられます。
- ・小集団での話し合った内容は、紙にまとめて、教材提示装置で紹介する。ホワイトボードには、一番話し合いたいところだけに絞って考えて記録する方法もよいかもしれません。
- ・「香害」という事実を知り、それをもっと自分事と考えるためにCRSを活用する交流も考えられます。
- ・自分も「香害」についての加害者意識がもてるようCRSの行い方にも工夫が必要であると思います。

## 2年生の生き方を学ぶ会

10月24日(木)13:15~14:05 於 食堂

講師:唐澤 晋平 氏 テーマ「自分で考えて行動しよう」「人間関係を大切にしよう」



10月24日(木)の5時限目、2年生は総合的な学習の時間に、「奏林舎」を設立した唐澤晋平氏を講師に迎えて生き方を学ぶ会を実施しました。次のことを話されました。

- ・森の手入れをしながら、その木を使って環境保全と田舎の仕事づくりができるようにしたいと考えていました。その頃、2011年に東日本大震災、福島原発事故が起きて、自然との共生の必要性を強く感じるようになりました。
- ・これから50年で、絶対に起きることは、次の二つです。一つ目は、人口減少と少子高齢化。二つ目は、温暖化に伴う災害です。今までの当たり前が当たり前でなくなる。だから、これから**自分で判断して行動できる力をつけることが大切です。**
- ・冒険とは、**Cゾーンを乗り越えることだと考えます。CゾーンのCとはComfortで、快適、安心、安全、ストレスがないこと、予想できることだと考えます。**冒険で大切なことは、次の三つのことを意識することです。一つ目は、**自分からチャレンジすること。二つ目は、失敗から学ぶこと。三つ目は、Cゾーンをもっておくこと。**
- ・環境学を学び、宮城県のNPO法人に就職し、環境教育や森林の活用に従事しました。2014年に額田地区に移住し、2015年から2017年までの3年間、岡崎市ホテル学校に勤務しました。一般社団法人「奏林舎」を2018年に設立しました。この会社設立は、大きな冒険でした。最後は自分、人のせいにしてはダメ、同じことで失敗してはダメ、自分からチャレンジしたことだから、やり切れると思います。
- ・私が一番伝えたいことは、「**自分で考えて行動しよう**」「**人間関係を大切にしよう**」ということです。**自分で考えたことは、人のせいにはできません。**自分一人ではできないことは、人との出会いを通して解決することができます。**人との出会いを生かし、人間関係を大切にしましょう。**

## 令和元年度中学生三大陸国際理解教育推進事業

ウッデバラ市への訪問 9月27日(金)~10月5日(土)9日間

ウッデバラ市からの受入 10月18日(金)~10月25日(金)8日間



令和元年度中学生三大陸国際理解推進事業は、ニューポートビーチ市、ウッデバラ市、メルボルン市の三大陸の都市との交流事業です。額田中学校においては、平成30年度はニューポートビーチ市との交流、令和元年度はウッデバラ市との交流でした。スウェーデンのウッデバラ市との交流で、10月18日(金)の12時頃、岡崎市役所に到着したのはMattiasくんは、額中生のIくんの家庭でホームステイをしました。10月21日(月)に、IくんがMattiasくんを連れてきました。月曜朝会で紹介し、授業を受けました。10月24日(木)は、受け入れの最終日で、ウッデバラ市からの団長、副団長さんが額田中学校を訪問しました。Mattiasくんの授業の様子を見学しました。校内を案内し、敬信寮も見学しました。体育館での3年生とお別れ会も見ました。お別れ会は英語を使ったゲームでした。

今後、メールで交流活動を継続していくとよいと思います。